

令和5年度 ヒグマ対策関係者会議 議事録

1 日 時

令和5年4月13日（木）14:00-15:00

2 実施場所

かでの2・7 710会議室

3 出席者

別添「出席者名簿」のとおり

4 議 題

別添「次第」のとおり

5 挨拶

環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室長

6 議 事

(1) 令和5年度 ヒグマ対策について

事務局より資料1～4を用いて説明。

<主な説明事項－資料2のみ－>

○資料2

- ・ 振興局が作成する地域版実施計画による地域対応力の強化を令和5年度も継続的に実施。
- ・ 令和5年2月より人里出没抑制等のための春期管理捕獲を開始。
- ・ 狩猟期間の見直しや個体数調整のあり方検討を引き続き行い、ヒグマの生息状況などを見極めながら対応を具体的に検討。
- ・ ゾーニングの検討部会の開催を予定。
- ・ 情報発信の強化では、関係機関と連携し、SNS等を活用した情報発信を行う。
- ・ ヒグマ注意報、警報の運用を令和4年5月より開始。
→現在、厚岸町を対象にヒグマ注意報（4/1～4/30）を発出。

(2) ヒグマによる人身事故の発生状況

事務局より資料5を用いて説明。

<主な説明事項>

○資料5

- ・ 令和3年度は過去最多の人身事故数となった。
- ・ 事故の原因調査を北海道立総合研究機構に依頼し、調査が終了した順に、概要を当室HPに掲載。
→今後のヒグマによる人身事故対策の参考にしていきたい。
- ・ 令和3年度は人身事故件数が多発したが、その背景や原因は多様で一定の傾向は見いだせない。
- ・ 令和4年度は、3件4名の人身事故が発生した。

- ・ヒグマと人の軋轢については、ヒグマの生息数増加や、土地利用形態の変化によるヒグマの生息地と人里が接近してきていると推察。
→人がヒグマへ与える圧力低下により、今後も人里近くでの出没多発傾向が続く懸念。
- ・当室では、春先に人里出没抑制等のための春期管理捕獲を今年より開始し、ヒグマの人里出没抑制や技術伝承を実施可能とした。

(3) ヒグマ出没時・人身事故発生時の対応について

事務局より資料6～10を用いて説明。

<主な説明事項－資料6及び9のみ－>

○資料6

- ・「ヒグマ出没時に係る体制整備等について」は、振興局に毎年発出している通知。
- ・地域版実施計画において、緊急時に連絡漏れが生じないように連絡網の確認を再度依頼。
- ・例年、道内各地でエゾシカ用のくくりわなによる錯誤捕獲が発生しているところ。
→過去には、農業者が知らずに接近して怪我をした事例も発生。
→市町村等へ改めて安全管理について周知を願う。

○資料9

- ・令和4年5月に北海道ヒグマ注意報実施要領を作成。
- ・ヒグマによる出没や被害の内容と出没・事案発生場所に応じて、警報、注意報、注意喚起の3段階にレベルを分けて注意を発出。
- ・発出する際は、関係機関への文書通知のほか、TwitterやYahoo!防災を活用して道民、道内来訪者へ情報発信。
- ・各機関、SNS等の登録について周知願う。

(4) その他

- ・捕獲報告が例年遅れているので、すみやかに報告願う。
- ・捕獲個体の試料採取に地域差があるところ。
→捕獲個体の試料は、ヒグマの科学的な管理に必要なデータとなるので、市町村や狩猟者への協力について、様々な機会を通して伝えていただきたい。

(5) 質疑、意見交換等

質疑・意見なし。